

熊本地域医療センターだより

院長 杉田裕樹

令和4年(2022年)4月発行

通算204号

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

〒860-0811 熊本市中央区本荘5丁目16番10号

2022 5 月号

わかりやすい 診療部紹介

～顔が見える 糖尿病代謝内科～

総合診療部長 兼 糖尿病代謝内科部長 ささはら 笹原 たかゆき 誉之



いつもと違った切り口の自己紹介、診療科紹介を始めるにあたってその先鞭を切る役割を任せられました総合診療部長・医局長の笹原です。

当院勤務18年目です。着任当初から熊本市医師会各部の総会・懇親会に積極的に参加し、多くの先生方と「顔が見える連携診療」を心掛けています。ちなみに2012～2019年の8年間(COVID19で2020年3月に中止まで)に開催された84回の懇親会の内、67回参加させていただきました(出席率79.7%)。残念な事に開催中止のまま既に2年以上経過しています。地域医療センター勉強会も2020年9月にWEB開催で再開したものの、参加人数を制限したハイブリッド開催までで以前のような情報交換ができません。今後も当分、以前の様な「顔が見える連携医療」は無理なようです。今回これまでの診療案内とは一味違った内容と文章で、「こいつに紹介してみようか」と思ってもらえると幸いです。

「もうあんたのことは飲み会でわかってる。」との声もあるとは思いますが、まずは私の人となりをご理解いただくべく略歴から。東京都板橋区生まれ、小学校3年の時に埼玉県所沢市(西武ライオンズ球場そば)に転居。高校は埼玉県立川越高校で映画「ウォーターボーイズ」のモデルとなった全国でも稀な公立男子校です。私も水泳をしていましたが、当時母校の水泳部には男子シンクロナイズドスイミングがまだなかったので、水泳部ではなく美術部に所属していました。もし当時男子のシンクロナイズドスイミングが水泳部にあったら、入部して熱中し美術や医学とは縁がなかったかもしれません。

絵が好きだった父親の影響で中学の時から美術部に所属し、「集英社 世界美術大全 全24巻」を愛読、気に入った絵の模写を水彩で描いていました。高校美術部では本格的に石膏像の木炭デッサンや人

体クロッキー等の基礎を勉強し、夏の合宿(1週間程度の泊りがけで油彩)や美術の授業・県美術展のための大作油彩の作成等楽しく活動し、一時は東京芸術大学進学も考えました。正直、高校時代は医者になろうとは微塵も考えていませんでした。しかし、高校で本格的に美術をはじめ「とても芸術では敵わない」個性あふれる友人達と接し、「将来何になるう」と考え始めた頃、父から思いがけず「医者になるなら浪人してもいいぞ」と言われました。単純な私はその気になり、一浪して両親の故郷・熊本の熊大医学部に入学しました。生物学のパンジー実習や解剖学の全身の骨格標本のスケッチ実習では美術の勉強が大いに役立ちました。

今と違い医学部卒業すぐ入局の時代で、眼科か耳鼻科に入局を考えていましたが、卒業間近のポリクリで着任したばかりの代謝内科七里教授の「一緒に糖尿病学を進歩させないか」との言葉に感動し、その後の飲み会で入局を決めました。入局2年目からは済生会熊本病院循環器内科、大学院、オーストラリア留学、大学に戻ったのち大牟田天領病院を経て、2004年から当院に勤務しています。

さて本題の当科(糖尿病代謝内科)の紹介です。基本的には糖尿病と甲状腺の診療が中心で、現在2人体制です。重症やより高度な医療・当院にない診療科との連携が必要な症例等は熊本大学糖尿病内分泌代謝内科や熊本医療センター糖尿病内分泌内科等と連携診療しています。

特に糖尿病診療では血糖コントロールだけでなく、耐糖能を悪化させるような悪性疾患等のチェックを積極的に行い、毎年5～10例(血糖コントロール悪化で紹介頂いた患者の5-10%)で悪性疾患を見つけ出し早期治療に結び付けています。他の基幹病院とは異なる視点の糖尿病診療、ナンバーワンではなくてもオンリーワンの病診連携を目指し、当院を卒業し先生方のところに戻る時には安心して外来診療頂ける様にお膳立てをします。更に診療に苦慮する症例もご紹介いただき、患者に応じて工夫した糖尿病診療を心掛けています。

～臨床検査部～

臨床検査部 課長補佐 くわはら 桑原 ともひで 智英



緊急検体検査・輸血検査・生理機能検査・超音波検査を、技師15名で行っています。1名産休中。皆、美男・美女で、とても穏やかで優しく、向上心旺盛のスタッフばかりです。

○超音波検査：日本超音波医学会認定資格を有する超音波検査士7名が中心となり、各担当医の指導のもと検査を施行しています。当院の特性上、会員の先生方からの紹介であり、精査目的で来られる患者様がほとんどです。従って、超音波の画像検査は、より詳細に観察し、高質の画像、より良い検査結果が得られるように施行し、患者様の診療に繋がるよう努力しています。例えば、実質臓器及び消化管のスクリーニングや、急性虫垂炎など急性腹症の診断、慢性疾患の経過観察、術後再発のチェック、治療前・治療後の状態把握等を行っています。またCTなどの画像と同期させるフュージョン画像を用いて、実質臓器の小病変や腸管病変などの検索を行っています。体表領域では、乳腺・甲状腺・体表リンパ節等の検査を行っています。悪性腫瘍が疑われる症例では、担当医により穿刺細胞診、組織診まで実施し、最終診断としています。鼠径ヘルニアのエコーも行っています。心臓領域では、経胸壁による検査以外に、循環器内科専門医による経食道心臓超音波も実施しています。血管領域では、頸動脈エコー、下肢血管エコーを行っています。また、超音波検査技術（腹部・体表領域）の研修施設として熊本県内の医療機関より、医師・検査技師等の研修者を受け入れており、双方のスキルアップに繋がっています。超音波診断装置5台、心血管エコー装置2台、ポータブルエコー1台で運用しています。また、乳腺エコーや女性の鼠径部や下肢血管等の検査は、女性技師が対応しています。

○生理機能検査：心電図、血圧脈波、呼吸機能、脳波、ホルター心電図など多岐にわたって検査を実施しています。アレルギー外来の開設に伴い、通常の呼吸機能検査をはじめ、一酸化窒素、残気量、

DLC_o（肺拡散能検査）、呼吸抵抗測定を導入し、喘息や慢性閉塞性肺疾患（COPD）の診断、薬の効果判定に役立っています。ホルター心電図の解析は、外部からの依頼も受託しており、緊急性の高い異常波形が見られた場合は、FAXにて生波形をいち早く報告しています。すべての検査は、医師会会員の先生方が利用可能ですが、一部は外来紹介での対応となっています。

○緊急検体検査：24時間365日年中無休で稼働しています。院内だけでなく医師会会員等の医療施設から提出される緊急検査も、夜間・休日問わず受託しています。1日の検査件数は、院内依頼分が約150～200件、院外依頼分が、平日約10件、日祝日20～30件です。緊急での依頼に対応するため種々の自動分析装置を配置し、緊急検査項目は原則として受付から1時間以内での結果報告を行っています。超異常値に関しては、電話にて早急に報告しています。また、正確な検査結果を提供するため、内部精度管理だけでなく外部精度管理にも積極的に参加して、常にトップランクのAを取得するよう日々努力しています。

○輸血検査：輸血製剤管理システムがあり、検査室内にて一元化されています。全自動輸血検査装置と輸血システム及び包括情報システムによって、血液製剤の提供や検査など安全に管理されています。



退任挨拶



外科
うえむら のりお
上村 紀雄

4月に熊本で日本外科学会定期学術集會が開催されました関係で5月の異動となりました。昨年4月から1年間という短い期間ではありましたが、臍臓手術をはじめ、他院では経験できないような様々な手術を経験させていただきました。大学院後初めての赴任先で臨床から離れていましたので、昨年の4月は不安と、期待でいっぱいだったことを思い出します。初心に戻って、臨床に臨んで参りましたが、

多くの先生にご迷惑もお掛けしたとおもいます。しかしながら、熊本地域医療センターは診療科ごとの垣根も低く、他科の先生にも気軽に相談することが出来て非常に助かりました。看護師さん、コメディカルスタッフの方々ととても優しくとても働きやすい職場環境でした。COVID-19流行後の赴任でしたので、1年間飲み会など一度もなく、また、ほとんどのスタッフとはマスク越しの顔しか見たことがないことを改めて考えてみるととても不思議な感覚です。5月からは鹿児島島の出水総合医療センターへ異動となります。熊本地域医療センターで学んだことを活かし、出水市の地域医療に貢献できるように励んで参ります。1年間という短い期間ではありましたが、ありがとうございました。

研修医 ささき ゆかこ 佐々木 由加子

2021年4月より1年間、熊本地域医療センターにて初期臨床研修をさせていただきました。指導医の先生方をはじめ、医局の先生方や職員の皆様には、お忙しい中懇切丁寧なご指導をいただき、厚く感謝申し上げます。また、研修医1年目ゆえの未熟さもありませんでしたが、私自身の手際の悪さから業務上多々ご迷惑をかけてしまい、申し訳ございませんでした。振り返ると本当に恵まれた環境であったなと思えます。

新型コロナウイルスの流行により張り詰めた環境の中診療をしなければならず、プライベートでも細

心の注意を払った生活を心掛ける必要があり、病院全体として大変な1年であったように感じます。一刻も早く終息し、以前のような日常が戻ってくることを祈るばかりです。

4月からは大学病院にて2年目の研修医として勤めていくこととなります。患者さんのために今の自分にできることを考え、1年目でご指導いただいたことや経験を活かして精進して参ります。

1年間大変お世話になりました。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

新任挨拶

皮膚科部長 もりや ちかこ 守屋 千賀子

熊本市医師会会員の皆様、熊本地域医療センター職員の方々、この度当センター皮膚科部長を拝命しました守屋千賀子です。私は1996年に琉球大学を卒業、1998年熊本皮膚科（小野友道教授）に入局しました。熊本市市民病院（木藤部長）、水俣医療センター（大石部長）、国立熊本病院（故前川部長）、熊本中央病院（古城部長）、菊池恵楓園（野上副園長）等を経て今年3月まで10年余り八代市にある熊本労災病院に勤めておりました。

さて、当センターの「かかってよかった。紹介してよかった。働いてよかった。」は、とてもわかり

やすく印象に残る理念だと思えます。詩のような簡潔な言葉であるからこそ多様な受け取りができるように感じます。ちなみに私は患者、医師会会員、職員にむけて、それぞれが同程度に尊重されるべきで、また互いに尊重しあいましょうというメッセージを受け取りました。患者様、会員の先生方、職員など当センターに関係するすべての方が満足するような医療、職場環境を提供するのは容易ではないと思いますが、チームの一員として理念に一步でも近づけるよう襟を正して職務に臨みたいと思えます。



小児科
ふじやま なつき
藤山 菜摘

本年4月より赴任いたしました小児科の藤山菜摘と申します。熊本県出身で、熊本大学を卒業し、現在医師6年目です。これまで、熊本赤十字病院、熊本市市民病院、福田病院、再春医療センター、熊本大学病院に勤務してきました。

趣味はフルートで社会人の吹奏楽団に所属しております。この数年は新型コロナウイルスの影響で日常の練習ができず、毎年楽しみにしている定

期演奏会やコンクールが中止となり、とても残念です。

当院は小児救急医療を特徴としており、またアレルギーという専門的な分野にも携わらせていただくことができます。まだまだ未熟でご相談させていただくことも多いですが、先生方には丁寧に指導していただき、またスタッフの方々は皆様温かく接してください、有難く感じております。

いろいろなことが制限され、懸念が絶えない社会情勢が続いていますが、大好きな熊本の医療に少しでも力になれるよう、皆様方と協力して、前向きに頑張りたいと思っております。ご迷惑も多々おかけすると思いますが、何卒よろしくお願い致します。



消化器内科
くろいわ ともひろ
黒岩 朋裕

2022年4月より当院消化器内科常勤医として赴任しました黒岩朋裕と申します。私は済生会熊本病院で初期臨床研修を2年間行った後、熊本大学病院消化器内科へ入局し1年勤務後、昨年度までは熊本労災病院で勤務しており、今年で医師6年目となります。消化管、胆膵領域を主に様々な消化器疾患、それに伴う内視鏡、透視下での処置、その他消化器疾患以外の疾患な

どを大学病院・労災病院で学ばせて頂きましたが、医師としてはまだまだ未熟です。また、地域医療センターは市内中心部に位置した医師会の病院であり、労災病院のような地方の主幹病院とは病院として担っている役割もやや異なると思います。開業の先生方や近隣病院との連携を行い、できるだけ早く当病院の一員として地域の医療に少しでも貢献できるように励んでまいります。まだ慣れない点や至らない点もあり当病院の先生方、スタッフの方々、連携病院・医院の先生方に度々ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、何卒ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



外科
とみた まさひろ
富田 真裕

4月1日より外科に赴任いたしました富田真裕と申します。平成30年に熊本大学を卒業後、熊本赤十字病院での初期臨床研修を経て、熊本大学病院小児外科・移植外科に入局いたしました。入局後、熊本大学病院、JCHO熊本総合病院での研鑽を経て、この度熊本地域医療センターへの赴任となりました。

私はこれまで、大学病院では、小児外科および肝移植の研鑽を積み、集学的治療で治療が難し

い患者を治していく大変さとやりがいを学びました。JCHO熊本総合病院では悪性疾患や外科救急疾患を中心に、治療法としてはヘルニアの手術からロボット支援手術まで、消化器外科領域全般にわたり幅広い経験を積んでまいりました。僅かではありますが自分が身につけた知識・技術・経験を最大限活かして、当院での診療にあたっていきたくと思います。

熊本地域医療センター外科の一員として、医師会の先生方と連携しながら、熊本市の地域医療に貢献できるよう最大限努力していこうと考えている次第です。ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。

熊本地域医療センター勉強会のお知らせ

日時／2022年5月23日(月) 19:00~20:00

形式／ハイブリット方式 オンライン参加 or 会場参加

オンライン参加：ZOOM 会場参加：2階多目的ルーム

申し込み方法／kumamotochiiki@gmail.com (※1) まで

メールにて「所属医療機関名」および「氏名」を記載し、お送りください。(後日、詳細な参加方法についてご案内いたします)

(※1) 申し込みアドレス



※会場参加を希望される方は、事前にお申し込みください。

人数制限によりご案内できない場合がございます。

※予定が変更になる場合がありますのでご注意ください。

①症例報告

『集学的治療で最善の病勢コントロールを図る肝内胆管癌の1例』

外科 岡部 弘尚 医師

②特別講義

『非がん性呼吸器疾患緩和ケア指針2021』
CC 81：終末期のケア

緩和ケア科 安部 英治 医師

熊本地域医療センター
理 念

かかってよかった。
紹介してよかった。
働いてよかった。
そんな病院をめざします。

contents

わかりやすい 診療部紹介 ～顔が見える 糖尿病内科～ P 1
わかりやすい 部門紹介 ～臨床検査部～ P 2
退任挨拶 P 3
新任挨拶 P 3~4

熊本地域医療センター

■医師へ直接紹介される方はこちら

☎096-363-3311 (代表)

■何科に紹介するか迷っている場合はこちら

※ベテラン看護師が対応いたします!

(平日9:00~17:00) ☎096-372-0600

■画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室)

☎096-366-1323

編集後記

Y 新任医師を迎え、新緑の眩しい季節となりました。改めて、新企画「わかりやすい 診療部紹介・部門紹介」を始めました。ひょっとして、ご存知なかったことがあるかも知れません。該当する患者さんがあれば、是非、ご紹介をよろしくお願い致します。

K 世の中の高校生男子のほとんどは、食欲旺盛でしょうか? 我が家のふたりの息子達。朝夕の食事は、てんご盛りのどんぶり飯。昼はドカ弁だけでは足りず、追いおにぎり。さらにおかずは、肉・肉・肉。食費がハンパないです。

H この時期の雨は、気温/湿度ともに高くなり、なんだか気分が悪くなってしまいます。人によっては、湿度の影響で体調不良になるようです。梅雨入りの時期も控えていますので、くれぐれもご自愛ください。